

- 問1 宮崎県では、ピーマンやきゅうりなどの野菜において「促成栽培」という手法がとられています。この栽培方法の説明と、その目的の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 温暖な気候を活かして成長を早め、他の地域の出荷が少ない時期に販売して高い利益を得る。 | 2. 夏の涼しい気候を活かして成長を遅らせ、他の地域の出荷が終わった時期に販売して価格を安定させる。 | 3. 台風の被害を避けるため、収穫時期を秋から夏に前倒しすることで、輸送コストを削減する。 | 4. 冬の積雪を防ぐために大規模な温室を作り、一年中同じ価格で安定的に野菜を供給する。 |
|---|--|---|---|
- 問2 九州地方南部の地形図において、標高の高い平坦な場所に「畑」や「茶畑」の地図記号が集中して見られる地域があります。この地域の土地利用の背景として、土壌の性質の観点から説明したものとして適切なものはどれですか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。 | 2. 標高が高く冷涼な気候であるため、寒さに強い果樹の栽培に特化している。 | 3. 土壌に栄養分が極めて豊富であり、一度の作付けで多量の米が収穫できるため。 | 4. 海岸に近く塩害の影響を受けやすいため、塩分に強い農作物のみを栽培している。 |
|--|---------------------------------------|---|--|
- 問3 阿蘇山周辺から熊本県南部にかけての自然景観と、人々の生活や産業の関わりについて述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 火山群の周辺には多くの温泉が点在し、国立公園としての景観を活かした観光業が盛んである。 | 2. 日本海側の気候の影響を強く受けるため、冬季には季節風による大量の降雪が見られる。 | 3. 年間を通じて降水量が少なく乾燥しやすいため、平野部には「ため池」が各地に点在している。 | 4. 広大な平野部では、土砂の堆積によって形成された干拓地を利用した大規模な稲作が行われている。 |
|--|---|--|--|
- 問4 九州地方に位置するある空港は、国内の航空ネットワークにおいて極めて重要な拠点となっています。この空港と東京国際空港（羽田）を結ぶ路線の旅客数は年間約836万人に達し、国内最大級の規模を誇ります。また、大阪、那覇、中部、新千歳といった主要都市とも結ばれているこの空港の名称として正しいものを選択してください。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|----------|
| 1. 福岡空港 | 2. 鹿児島空港 | 3. 那覇空港 | 4. 北九州空港 |
|---------|----------|---------|----------|
- 問5 九州地方の産業統計において、金属製品の出荷額が5,000億円を超え、さらに観光やビジネスに伴う宿泊旅行者数が年間350万人を上回るなど、製造業とサービス業の両面で中心的な役割を果たしている県はどこですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 福岡県 | 2. 宮崎県 | 3. 佐賀県 | 4. 鹿児島県 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問6 九州地方において肉用牛の産出額が非常に高い背景には、南九州を中心に広がる地形的要因があります。火山噴出物が積み重なってできたこの台地は、水持ちが悪く稲作に不向きであったため、古くから畜産業や畑作が発展してきました。この台地の名称として適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. 武蔵野台地 | 2. 根釧台地 | 3. 牧之原台地 | 4. シラス台地 |
|----------|---------|----------|----------|
- 問7 九州地方のある県における2019年の農産物産出額の統計では、上位から順に「肉用牛」、「豚」、「ブロイラー（鶏）」、「鶏卵」となっており、上位4品目すべてを畜産関連が占めています。このような特徴を持つ県として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 福岡県 | 2. 鹿児島県 | 3. 熊本県 | 4. 宮崎県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問8 沖縄県が国際的な航空貨物輸送の拠点（ハブ）としての役割を担っている理由について述べた説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本国内の消費地が近いから、国内向けの新鮮な農水産物を迅速に輸送するのに適しているから | 2. 冬でも温暖な気候を利用して、海外から輸入した熱帯果実を一時的に保管するのに適しているから | 3. 空港周辺に大規模な自動車工場が集積しており、部品の輸出を効率的に行う必要があるから | 4. 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから |
|--|---|--|---|
- 問9 鹿児島県のシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産業が中心となってきた理由を、土地の性質に着目して説明したものとして正しいものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 土壌の粒子が粗く水はけがよすぎるため、稲作に必要な水を地表に蓄えるのが難しかったから。 | 2. 土地に含まれる火山性の成分が米の根を枯らしてしまうため、植物の栽培自体が不可能だったから。 | 3. 標高が非常に高く年間を通じて気温が低いため、米の成長に必要な積算温度が不足していたから。 | 4. 土地が非常に低く湿っており、大雨のたびに冠水するため、水田を維持することが困難だったから。 |
|--|--|---|--|
- 問10 沖縄県などの琉球石灰岩が広く分布する地域では、雨水が地中に浸透しやすく農業用水の確保が大きな課題となってきました。この課題を解決するため、サトウキビ畑などが広がる地層において、水を通しやすい琉球石灰岩の層と、その下にある水を通しにくい泥岩層との間に「止水壁」を設け、地下水の流れをせき止めて貯水する施設を何と呼びますか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 地下ダム | 2. 貯水池 | 3. 湧水地 | 4. ため池 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問11 日本の各地方における農業産出額の品目別割合に関する説明として、九州地方の特徴を正しく述べているものを次から選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. みかんやりんごなどの栽培が盛んであり、果実の占める割合が他の品目より突出して高い。 | 2. 他の地方と比べて米の占める割合が非常に高く、全体の半数近くを占めている。 | 3. 大都市への出荷に向けた近郊農業が盛んであり、野菜の占める割合が最も高い。 | 4. 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。 |
|--|---|---|--|
- 問12 宮崎市が位置する太平洋沿岸南部の地域で、冬でも温暖な気候となり、かつ夏から秋にかけて降水量が非常に多くなる主な要因の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. 暖流である黒潮の影響と、湿った季節風や台風の影響 | 2. 寒流である親潮の影響と、北西から吹く季節風の影響 | 3. 内陸の盆地による影響と、一年を通じて安定した高気圧の影響 | 4. 対馬海流の影響と、日本海側特有の冬の季節風の影響 |
|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
- 問13 ある県の主要5市を比較した統計において、福岡市は面積割合が6.9パーセントと最小クラスである一方、人口割合は31.4パーセントと最大値を示しています。この数値から読み取れる、福岡市の社会的な特徴について述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|--|--|
| 1. 人口と面積の割合が同程度であるため、過密による交通渋滞などの問題が起こりにくい。 | 2. 面積割合が人口割合を大きく上回っており、居住空間にゆとりがある。 | 3. 人口の流出が激しく面積あたりの人口が減少しているため、過疎化対策が必要である。 | 4. 人口割合が面積割合を大きく上回っており、人や機能が高度に集中している。 |
|---|-------------------------------------|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 温暖な気候を活かして成長を早め、他の地域の出荷が少ない時期に販売して高い利益を得る。	促成栽培は、宮崎県や高知県などの温暖な地域で盛んな栽培方法です。ビニールハウス等を利用して、本来の収穫時期よりも早い時期（冬から春）に野菜を出荷します。これにより、市場に出回る野菜が少ない時期を狙うことができるため、通常よりも高い価格で販売することが可能になります。対照的に、長野県などの涼しい地域で成長を遅らせる手法は「抑制栽培」と呼ばれます。
問2	答え 1 水が地下に浸透しやすく水田としての利用が困難なため、畑作や畜産が行われている。	シラス台地は火砕流堆積物からなる地層であり、非常に多くの隙間があるため、降った雨がすぐに地下へ抜けてしまいます。川やため池から水を引き込むことも困難だったため、稲作ではなく、乾燥に強い作物を選ぶ必要がありました。こうした背景から、畑作や広大な土地を活かした畜産業がこの地域の主要な産業となっています。
問3	答え 1 火山群の周辺には多くの温泉が点在し、国立公園としての景観を活かした観光業が盛んである。	阿蘇山周辺は火山活動の影響により、多くの温泉地が形成されており、阿蘇くじゅう国立公園として観光資源になっています。香川県などで見られる「ため池」や、北陸地方などで見られる「日本海側の降雪」は熊本県の特徴とは一致しません。また、干拓は有明海沿岸で見られますが、県全体の自然環境の説明としては火山の恩恵である温泉や景観がより適当です。
問4	答え 1 福岡空港	福岡空港は、九州最大の都市である福岡市に位置し、九州の空の玄関口として機能しています。特に東京国際空港との路線は、ビジネスや観光の需要が非常に高く、世界的に見ても屈指の旅客数を誇る主要幹線です。都市部からのアクセスが非常に良いという特徴もあり、九州地方全体の経済・交通を支える重要な役割を担っています。
問5	答え 1 福岡県	九州地方北部に位置するこの県は、北九州工業地帯を擁しており、古くから金属工業や機械工業が発展してきました。また、九州最大の都市である福岡市を中心に、商業やサービス業、交通網が高度に発達しているため、ビジネスや観光目的の宿泊旅行者数が他県に比べて圧倒的に多いという特徴があります。
問6	答え 4 シラス台地	鹿児島県から宮崎県にかけて広がるシラス台地は、火山の噴出物（火山灰など）で構成されています。水はけが良すぎて水田に適さなかったため、肉用牛や豚、鶏などの畜産や、サツマイモなどの畑作が盛んになりました。ちなみに根釧台地は北海道の酪農地帯、牧之原台地は静岡県県の茶の産地です。
問7	答え 2 鹿児島県	鹿児島県は九州地方の南部に位置し、広大なシラス台地を利用した畜産業が非常に盛んです。特に肉用牛、豚、ブロイラーの産出額は全国でもトップクラスであり、農業産出額の多くをこれらの畜産品が占めているのが特徴です。選択肢にある宮崎県も畜産業は盛んですが、この統計順位に最も合致するのは鹿児島県です。
問8	答え 4 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから	沖縄県は、東京、ソウル、上海、台北、香港、マニラといった東アジアを代表する主要都市から、概ね4時間以内で到達できる範囲内に位置しています。この地理的メリットは、貨物機が各地を往復して荷物を集約・再配分する航空貨物輸送の効率を最大化させるため、国際的な物流拠点として選ばれる最大の要因となっています。
問9	答え 1 土壌の粒子が粗く水はけがよすぎるため、稲作に必要な水を地表に蓄えるのが難しかったから。	シラス台地を覆う火山噴出物は、水が地下へ浸透しやすい（水はけがよい）という性質を持っています。このため、常に水を張っておく必要がある水田稲作には不向きな土地柄でした。その結果、厳しい土地条件でも育つサツマイモの栽培や、広大な台地を利用した畜産業がこの地域の特色ある農業として確立されました。
問10	答え 1 地下ダム	沖縄県の宮古島などに代表される琉球石灰岩地帯では、地表に降った雨が岩の隙間からすぐに地下へ抜けてしまう性質があります。そこで、地下の不透水層（水を通さない層）である泥岩の上に、コンクリートなどで「止水壁」という壁を建設し、地下水の流れをせき止めることで、サトウキビ栽培などの農業用水を安定的に供給する仕組みが導入されました。地上の土地を有効活用しながら、蒸発による損失を防いで水を貯められる利点があります。
問11	答え 4 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。	九州地方は鹿児島県や宮崎県などを中心に肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んであり、農業産出額の品目別割合では畜産が最も高い割合を占めています。なお、米の割合が高いのは東北地方、野菜の割合が高いのは関東地方の特徴となります。
問12	答え 1 暖流である黒潮の影響と、湿った季節風や台風の影響	宮崎市などの太平洋沿岸南部では、暖流である黒潮（日本海流）が近海を流れているため、冬の寒さが和らぎ温暖な気候がもたらされます。一方、夏から秋にかけては、太平洋高気圧からの湿った季節風や、南から北上する台風の通り道にあたるため、非常に多くの降水量が記録されます。これに対し、親潮は北日本に影響を与える寒流であり、対馬海流は日本海側の気候に大きく関わる暖流です。
問13	答え 4 人口割合が面積割合を大きく上回っており、人や機能が高度に集中している。	福岡市の特徴は、県全体に占める面積の割合に対して、人口の割合が圧倒的に大きい点にあります。この数値の乖離は、県内の人や経済活動、行政機能などが福岡市という限られた範囲に極度に集中していることを示しています。その結果として高い人口密度が形成されており、九州地方における地方中枢都市としての機能を果たしています。